

第67次教育研究愛知県集会

記念講演「子どもたちの健やかな成長をめざして」

学校・家庭・地域の協働 ー未来を担う子どもたちのためにー

講師 プール学院大学教育学部教授 長尾 彰夫氏

子どもたちの現状や今後の教育の方向性について、難しいお話ではあるのですが、長尾氏の流暢な口調で終始会場が笑いに包まれていた講演会となりました。

家庭は、学校と同じように子どもを扱ってはいけないと言います。学校は一人一人の子どもを比べたりしますが、家庭では一人一人の子どもをかけがえのない存在として扱うことが大切です。「お兄ちゃんは〇〇なのに、あなたは・・・」と言えば、子どもは嫌がります。

学校運営協議会の設置が努力義務にされた今、地域についても考えていかなければなりません。行政区・校区としての地域は生活の背景が共通している村落共同体とは違い、子育ての理念が共有化されているわけではありません。だからこそ、学校も地域も家庭も変わり、共通の価値観をもつことが大切なのです。コミュニティとしての共通の価値観が必要であり、まずは共通してルールを守っていくことが重要です。 と言った内容のお話でした。

30年後は、今ある65%の仕事はなくなってしまうそうです。コンビニ・スーパーの店員だったり、タクシー・バスの運転手等。これをやっておいたらうまくいくという世の中ではなくなってきました。変化の激しい社会を戦うには、生きる力が必要になるそうです。

まずは、その架け橋として家庭でできること「いっぱい愛情で一人一人の子どもをかけがえのない存在として、大切に扱っていきたい」と思いました